

令和3年7月16日作成資料  
一関市 建設部 治水河川課  
登米市 建設部 建設総務課  
石巻市 建設部 河川港湾課

## 岩手県から宮城県へと流れる北上川、 「一関市」、「登米市」、「石巻市」の3市長で 一関遊水地、北上川分流施設を現地視察し、相互に 流域治水の理解を深めます

気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」の取組みが北上川流域をはじめ全国各地で始まっています。

東北地方最大の河川 北上川流域の一関市、登米市、石巻市の3市長が一堂に会し、流域の治水施設を視察、意見交換を行い「流域治水」の理解を深めます。

現地視察の全行程は添付のとおりですが、取材に関しては以下のとおりとなります。

■ 日 時： 令和3年7月26日（月）

■ 取材可能場所：

① 一関（北上川）遊水地展望台（岩手県一関市） 14：30～

② 北上川分流施設（宮城県登米市） 16：00～

（取材を希望される方は事前に、添付様式により、石巻市あてにFAX等で連絡ください）

【場所等の詳細は別紙をご覧ください】

※「流域治水」に関して、事前に取材が必要な場合は、下記へお問合せください。＜別紙参考資料をご覧ください＞

### 【現地視察の問合せ先】

一関市 建設部 治水河川課長 千葉 幸喜 電話 0191-21-8501

登米市 建設部 建設総務課長 高橋 浩昭 電話 0220-34-2365

石巻市 建設部 河川港湾課長 千葉 忍 電話 0225-95-1111（内線5603）

### 【流域治水に関する問合せ先】

【岩手県側】国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 副所長 渡辺 敏彦

電話 019-624-3131（内線204）

【宮城県側】国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 副所長 小嶋 光博

電話 0225-95-0194（内線204）

## 北上川流域3市長「流域治水」合同現地視察 全行程

13:40~13:50 あいぽーと（北上川学習交流館） 【取材不可】



14:00~14:20 一関遊水地堤防を視察 【取材不可】



14:30~14:40 ①一関（北上川）遊水地展望台から視察

【取材可能】

岩手県一関市舞川梅木45付近（添付地図参照）



15:00~15:10 県境付近の狭窄部の視察



16:00~16:20 ②北上川分流施設の視察

【取材可能】

宮城県登米市津山町柳津小麻12付近

(取材申込み様式)

※当日取材を予定される方は、下記に記入のうえ事前に FAX 送付願います。

## 「北上川流域 3 市長「流域治水」合同現地視察」

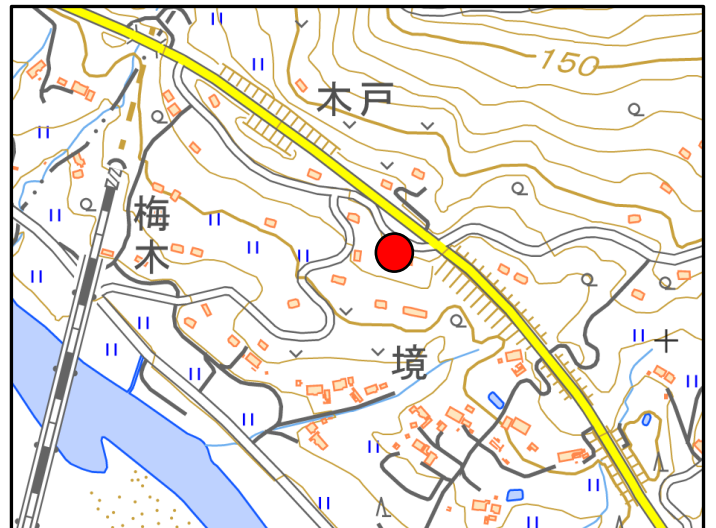
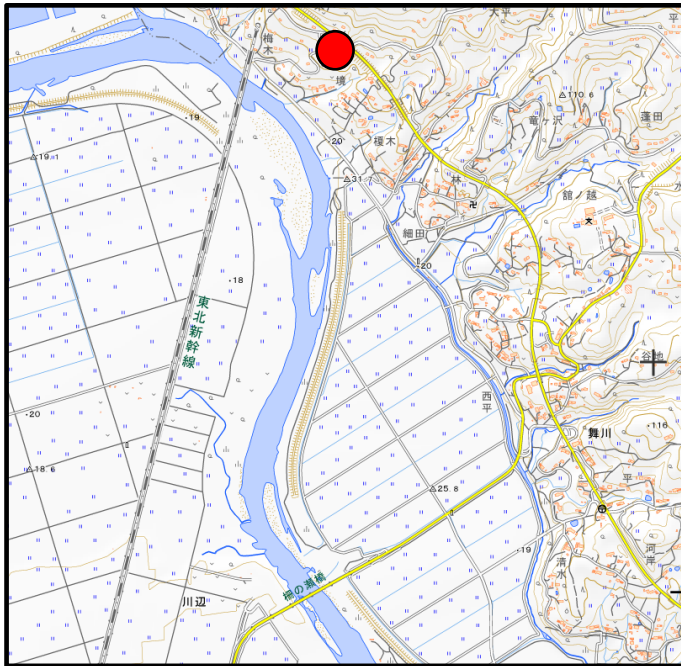
### 取材申込書

石巻市 建設部 河川港湾課 千葉 あて  
FAX 0225-23-4345  
(TEL 0225-95-1111)

取材を希望される方		備考
会社名		
連絡先 (電話)		
氏名		

取材先	○印を記入してください
① 一関 (北上川) 遊水地展望台 (岩手県一関市) 14:30~	
② 北上川分流施設 (宮城県登米市) 16:00~	

① 一関(北上川)遊水地展望台(岩手県一関市市舞川梅木 45 付近)



② 北上川分流施設(宮城県登米市津山町柳津小麻 12 付近)



# 「流域治水」の施策について

- 流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

## ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 雨水貯留機能の拡大

集水域

[国・市・企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、  
ため池等の治水利用

### 流水の貯留

河川区域

[国・県・市・利水者]

治水ダムの建設・再生、  
利水ダム等において貯留水を  
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水  
機能の向上

### 持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、  
雨水排水施設等の整備

### 氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した  
堤防強化等

## ② 被害対象を減少させるための対策

### リスクの低いエリアへ誘導／

住まい方の工夫

[国・市・企業、住民]

土地利用規制、誘導、移転促進、  
不動産取引時の水害リスク情報提供、  
金融による誘導の検討

氾濫域

### 浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、  
自然堤防の保全



## ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 土地のリスク情報の充実

氾濫域

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、  
多段型水害リスク情報を発信

### 避難体制を強化する

[国・県・市]

長期予測の技術開発、  
リアルタイム浸水・決壊把握

### 経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、  
BCPの策定

### 住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報  
提供、金融商品を通じた浸水対策の  
促進

### 被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携によるTEC-FORCEの  
体制強化

### 氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化